

我が国におけるナショナル・アーツカウンシル制度確立の要諦

1. ナショナル・アーツカウンシルの基本概念 (p.3-5, 24、以下 AC 勉強会資料スライドページ番号)

ナショナル・アーツカウンシルは、「文化芸術助成を通じて政府の文化政策を実現する統合的な助成執行機関」「政府との関係を明確にしつつ、文化芸術助成の執行を通じて、政策を推進し、提言する役割」である (p.3) # 政府 (政策形成／財源確保) との「アームズ・レングスの原則」による関係を保ち、助成判断・執行を専門機関が担う (p.5) # 主たる役割：助成執行に関する統合的なハブ機能／政策推進・政府への政策提言／データ収集・分析・活用／多様な中間支援人材の育成・配置など (p.4-5)

2. ACE から得られる示唆 (p.6-23)

(1) 戦略と政策連動 (p.6-10)

戦略目標により長期的な文化政策の方向性を提示。2020 年発行の戦略文書は「取り扱い説明書ではなく誘導灯となるビジョン」。時代に応じて変更可 (p.9) # 文化芸術関連助成のハブ機能 (p.6)

(2) 助成規模の確保、構造と運用 (p.11-16, 19-21)

政府 (複数省庁) と宝くじからの財源を収入に (p.11) # 地域別配分状況の明示 (p.12) # 運営助成、事業助成などのほか、教育省など他省庁との連携事業も (p.13-16) # リスク管理 (p.19-21)

(3) 組織体制 (p.17-18)

RM を分野別・政策領域別に多数配置 (音楽、演劇、博物館、子ども・若者、ツアーなど) # 事務を取り扱うオフィサーも同レベルで配置

(4) 情報基盤 (p.22-23)

国民への説明責任を果たすため、文化芸術助成関連の情報を集約して戦略目標の達成状況を可視化

3. 日本のナショナル・アーツカウンシル制度設計に向けて (AC 勉強会資料+文化経済部会報告書)

政策目標に沿った助成金分配のハブ機能確立につなげる審査・モニタリング・評価の制度整備

(1) 振興理念の明文化と安定的な財源の確保を通じた文化芸術助成執行の統合的な枠組みの整備 文化芸術助成を通じて目指す文化芸術の社会・経済的役割とそれを実現するための長期ビジョンを第3期基本計画に明記、財源確保の方策検討へ。芸文振の中期目標、中期計画、年度計画で意識的に連携。

(2) データ基盤の整備 助成・申請システムのデジタル化・DX化を推進、文化芸術助成関連のデータベースを構築し、助成効果の可視化に向けた整備を

(3) 高度中間支援人材の育成・配置 # 配分する助成金の増加に対応した体制強化 # 人材 (PD／POに加えて、助成における法務・労務・財務などに専門性をもった事務職) を育成・配置 # 各文化芸術機関との連携を通じた文化芸術振興人材のプラットフォームへ

(4) 文化芸術のエコシステムの確立 文化芸術の社会的役割と経済循環を意識しつつ、助成金投入に関する説明責任を強化し、持続可能な文化芸術エコシステムを構築

4. まとめ：文化芸術推進基本計画（第3期）への反映方針

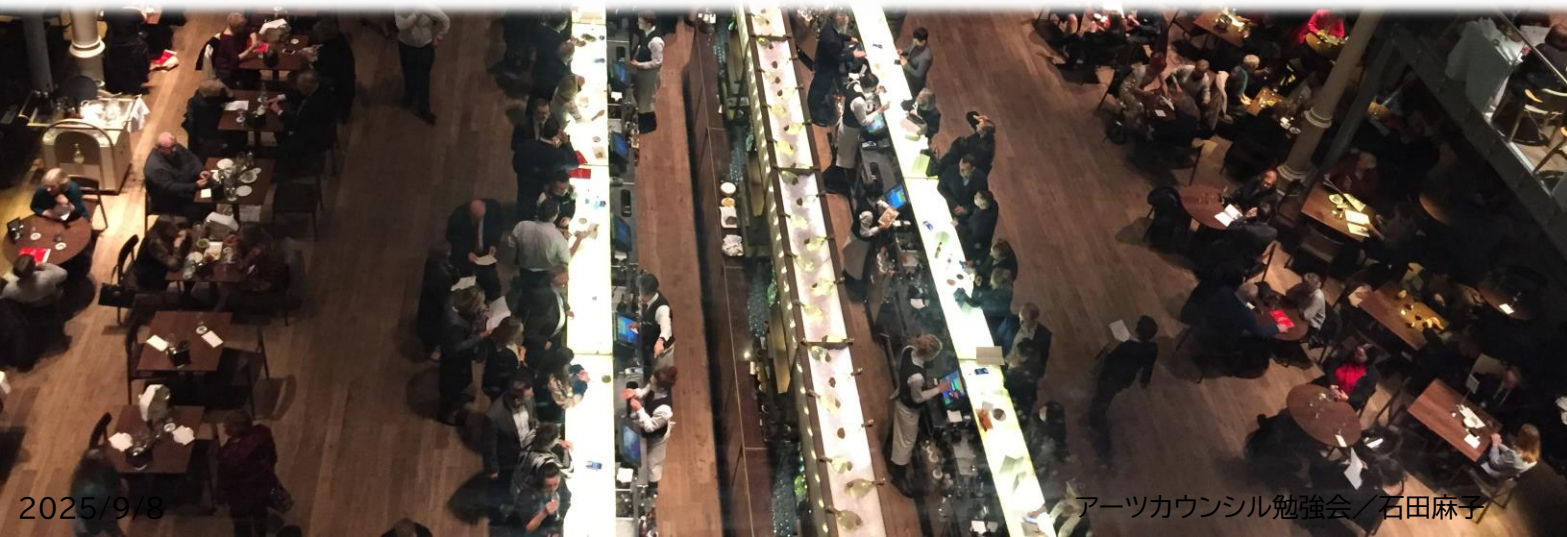
ナショナル・アーツカウンシルの制度設計を本年度文化審議会文化経済部会報告書に改めて体系的に明記、文化芸術推進基本計画（第3期）へ反映・接続させ、専門人材の配置・育成強化、データ基盤の整備を二大柱に位置づけ、制度確立に向けた施策を推進する。

参考資料：文化審議会第5期文化経済部会「日本文化振興のための文化と経済の好循環の推進」（論点整理）令和8年3月、石田麻子「アーツカウンシル勉強会」（スライド資料）2025年9月8日

アーツカウンシル勉強会

2025年9月8日

石田麻子



本日の構成

はじめに なぜアーツカウンシル・イングランドなのか

0) ナショナル・アーツカウンシル

1) アーツカウンシル・イングランド

2) 10年戦略の策定

3) 規模の確保

4) 戦略と意識づけ

5) 情報

6) まとめ

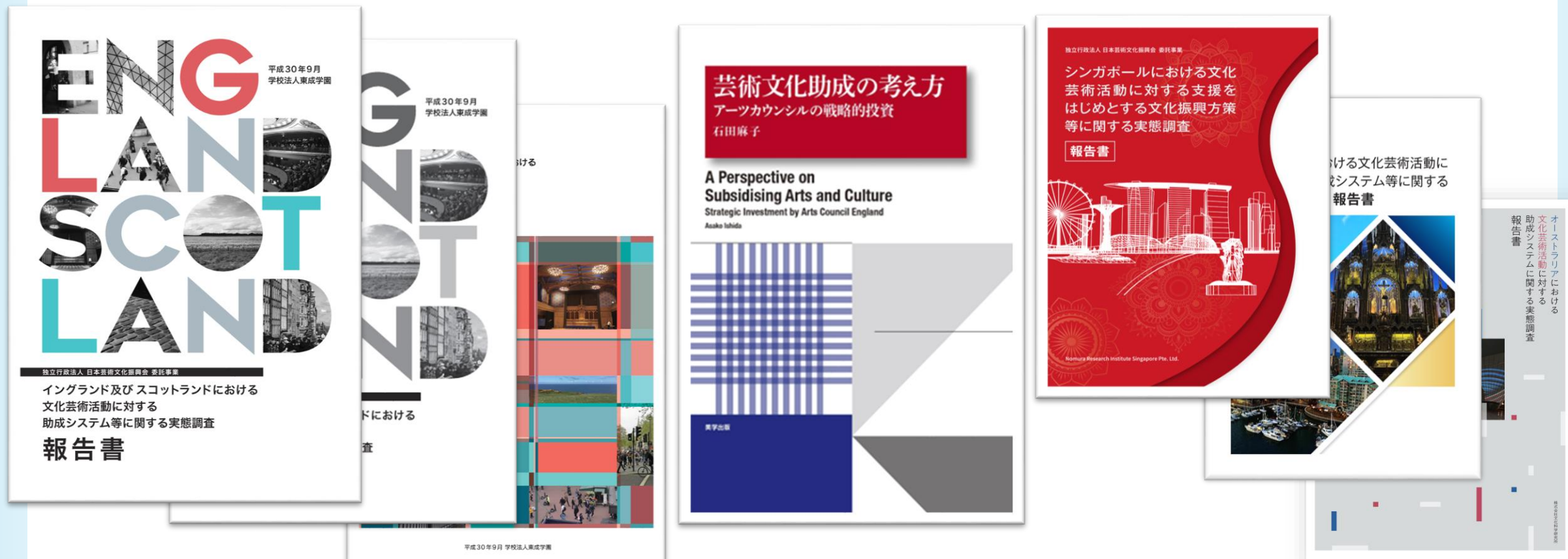
はじめに 本勉強会の目的 なぜアーツカウンシル・イングランドなのか

- ✓ 日本におけるナショナル・アーツカウンシルの構築に向けて、お手本となるアーツカウンシル・イングランド(Arts Council England:ACE)の組織・事業・資金・情報活用について取り上げる。
- ✓ ナショナル・アーツカウンシルとは？
文化芸術助成を通じて政府の文化政策を実現する統合的な助成執行機関である。
政府との関係を明確にしつつ、文化芸術助成の執行を通じて、政策を推進し、提言する役割を担う。

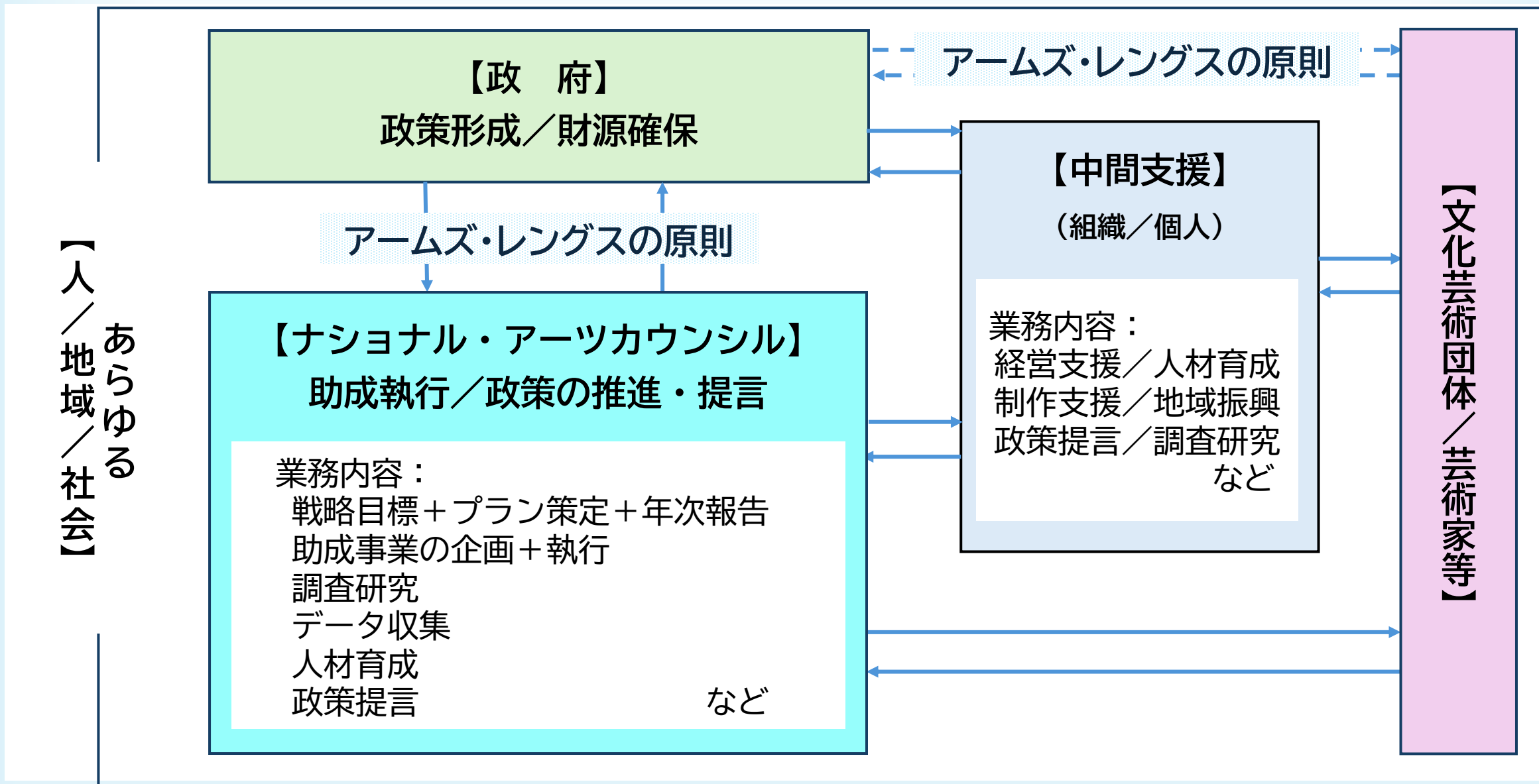
0) ナショナル・アーツカウンシル（１）調査報告書／書籍

「我が国におけるアーツカウンシルの最適解を導くために」

ナショナルレベルでのアーツカウンシル機能構築を目途とした2017年度から実施の実態調査と書籍
イングランド／スコットランド／オーストラリア／カナダ／シンガポール



0) ナショナル・アーツカウンシル（2）位置づけと役割



1) アーツカウンシル・イングランド(1) 政府とACEの役割分担

政府

政策形成 財源確保

DCMS Culture White Paper (2016)

・投資への言及
・10年戦略やコーポレートプランの策定を通じた
公的資金配分への考え方の提示

アーツカウンシル・イングランド

文化芸術助成の専門機関

他省の文化芸術助成も実施
文化芸術関連助成のハブ機能

ACE 改定10年戦略(2013)
Great Art and Culture for Everyone

現行10年戦略(2020)
Let's Create!



1) アーツカウンシル・イングランド (2) 文化芸術への投資

『芸術文化助成の考え方』p. 18～22、223～225

【考え方】

「(この)文化政策は経済政策の一つでもある。
文化は富をつくり出すのだ」

(1994年、オーストラリア政府 ‘*Creative nation: Commonwealth Cultural Policy*’)

「国家としておこなえる最善の投資のひとつは、我が国の、眼をみはるべきクリエイティブ産業への投資だ」(2016年、ジョージ・オズボーン財務大臣)

【経緯】

2008年:リーマンショック

2012年:ロンドン・オリンピック

【意識づけ】

- ・戦略文書での繰り返しの言及

- ・事業名

National Portfolio Investment Programme

(現在は2026-2028に向けて進行中)

【「投資」の意味】

- ・「投資」対象は何か

- ・リターンへの考え方

社会的リターン・経済的リターン

2) 10年戦略の策定 (1) 戦略目標の提示

『芸術文化助成の考え方』p. 22～29

➡ 10年戦略策定の理由 (2013年)

なぜ10年戦略フレームワークが作られたのでしょうか(中略)公的な投資を管理し、そこから最大限の価値を引き出す責任があるのです。例えば、芸術文化がもたらす啓発とエンターテインメント、生活を豊かにし、教育に活気を与えること、健康とウェルビーイングに不可欠な貢献、地域再生・観光・海外事業の推進。こうしたすべてを網羅するような目標を設定し、実現するための戦略を詳述して(後略)

(*Great Art and Culture for Everyone*,
Sir ピーター・バザルジェット)

戦略目標1

芸術、美術館・博物館、図書館において卓越性が花開き、称賛されること

戦略目標2

あらゆる人が芸術、美術館・博物館を体験し、触発される機会を持つこと

戦略目標3

芸術、美術館・博物館、図書館がレジリエンスを有し、環境的に持続可能であること

戦略目標4

芸術、美術館、図書館のリーダー層および従事者層が多様であり、適切なスキルを有していること

戦略目標5

あらゆる子どもと若者に、芸術、美術館・博物館、図書館の豊かさを体験できる機会があること

2) 10年戦略の策定 (2) ビジョンの提示

『芸術文化助成の考え方』p. 22～29

👉 10年戦略策定の考え方 (2020年)

10年は長い期間です。戦略がその期間成功したものとなるためには、固定的ではなく、柔軟であるべきです。すなわち、取り扱い説明書ではなく、誘導灯となる必要があります。そのためわれわれは、アクションプランではなくビジョンを発表しました。このビジョンは、この国で、創造性と文化が果たすことのできる、より豊かで、幅広く、深みのある役割に関するものです(後略)

(*Let's Create!*, ダレン・ヘンリー)

【3つのアウトカム】

- 1) クリエイティブな人びと
- 2) 文化的なコミュニティ
- 3) クリエイティブで文化的な国

【4つの投資の原則】

- 1) アンビションと質
- 2) ダイナミズム
- 3) 環境への責任
- 4) 包括的で適切であること

2) 10年戦略の策定(3) その道程と提示手法

『芸術文化助成の考え方』p.38～51

ナショナル・アーツカウンシルの**戦略目標**は多様なステークホルダーとコミュニケーションをとりながら策定。政府文書とも連動。
シンプルなキーワードでの提示により、浸透をはかる 例)エクセレンス、多様性、レジリエンス、子ども、クリエイティブ、環境

政府文書／例【カルチャー・ホワイト・ペーパー】2016

【10年戦略】2010／2013
長期的な目標

・何が達成されていくのか

【コーポレートプラン】
戦略的な目標

・どう達成していくのか

【申請ガイダンス】
複数年計画／単年度

・具体的にどうするのか

関与者:ナショナル・アーツカウンシル内PT／芸術文化関連セクター・人材／鑑賞者／国民ほか

10年戦略 策定までの流れ

調査／データ分析

・状況把握

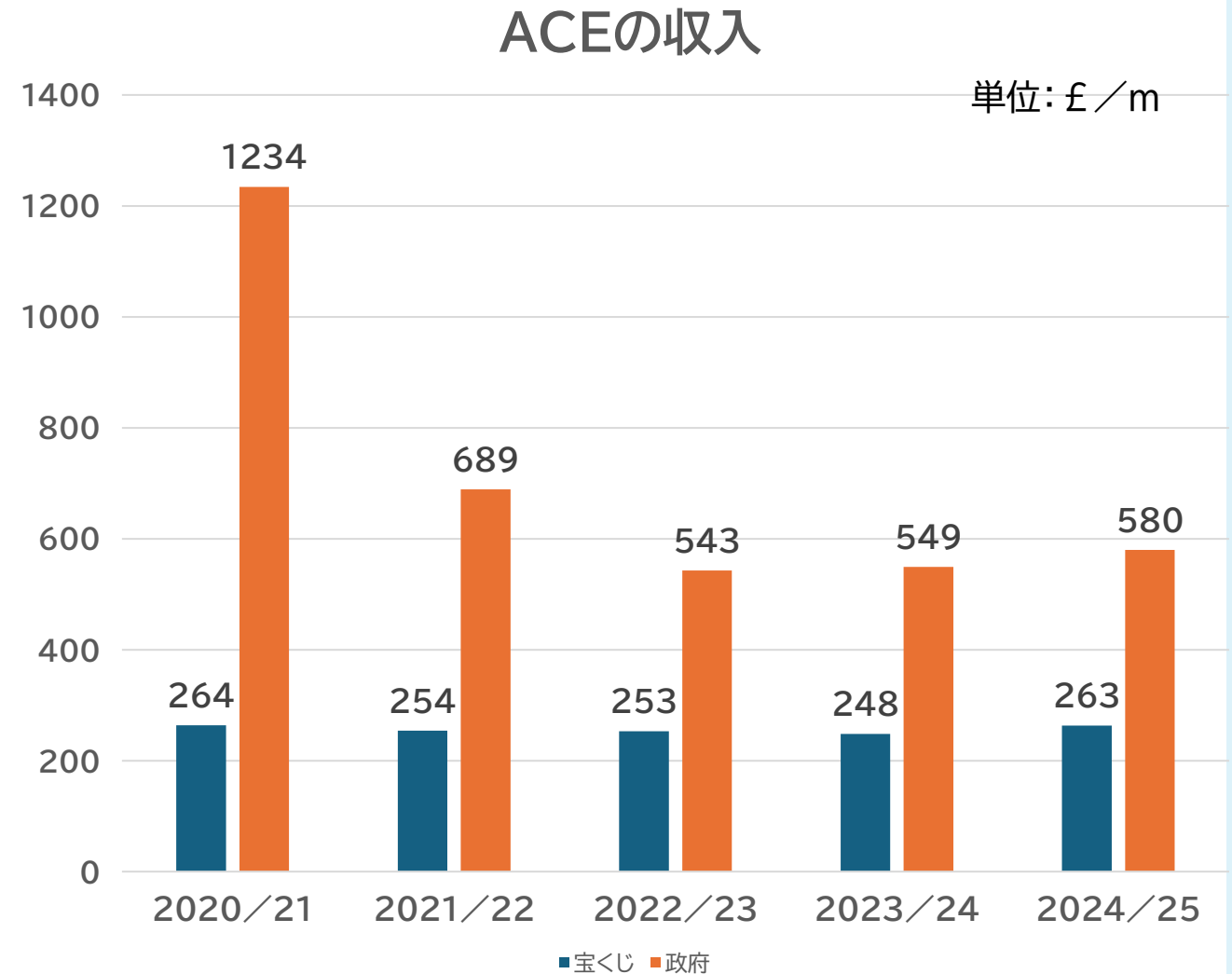
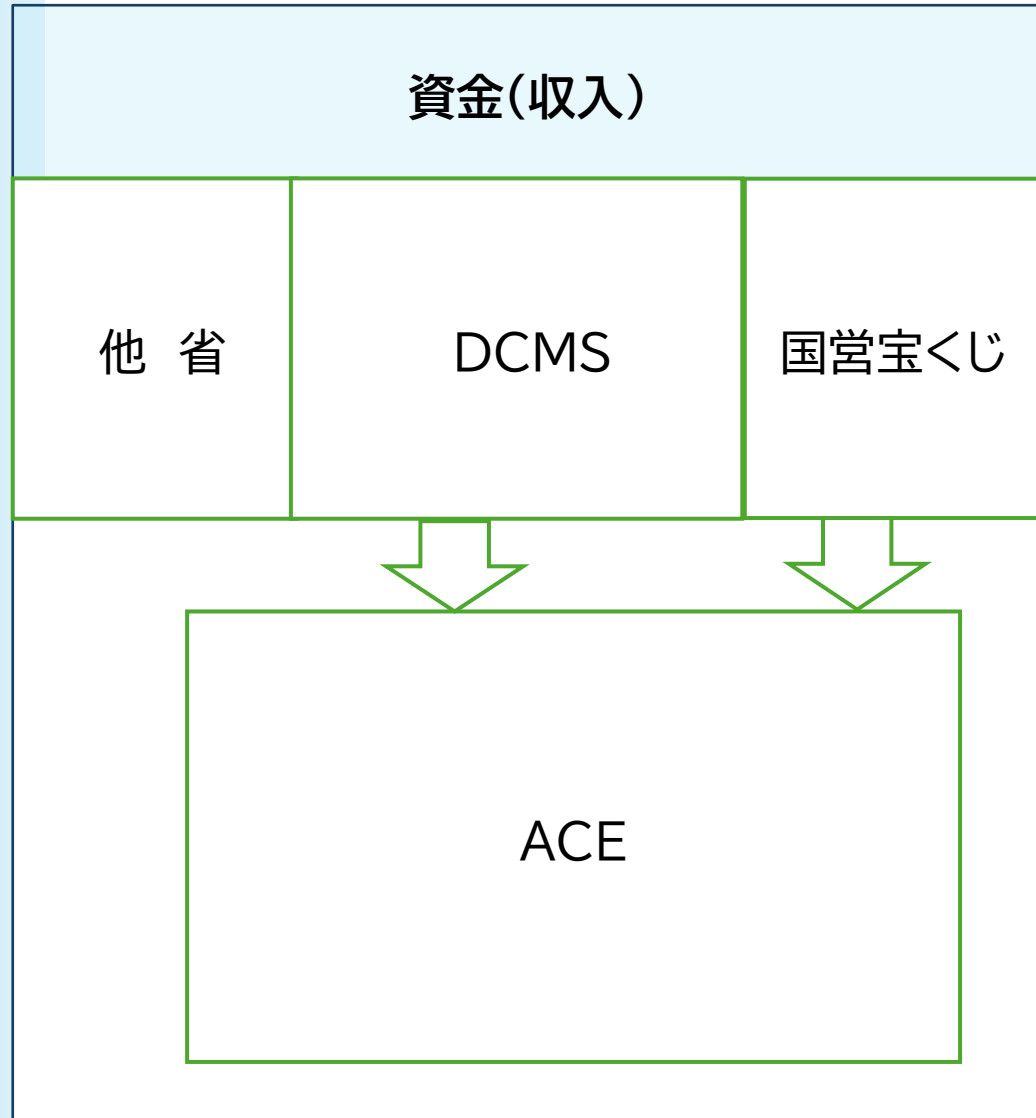
ワークショップ／
ラウンドテーブル

・課題共有

コンサルテーション

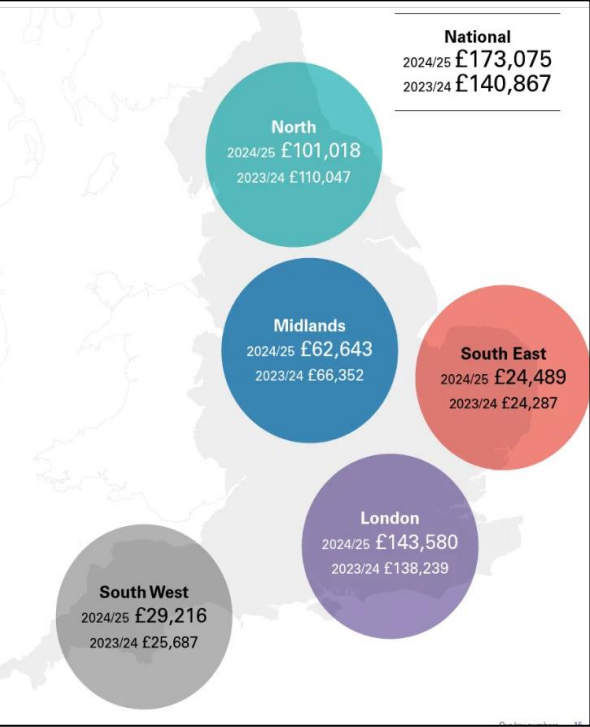
・解決策提示

3) 規模の確保 資金（カネ）、事業（モノ）、組織（ヒト）

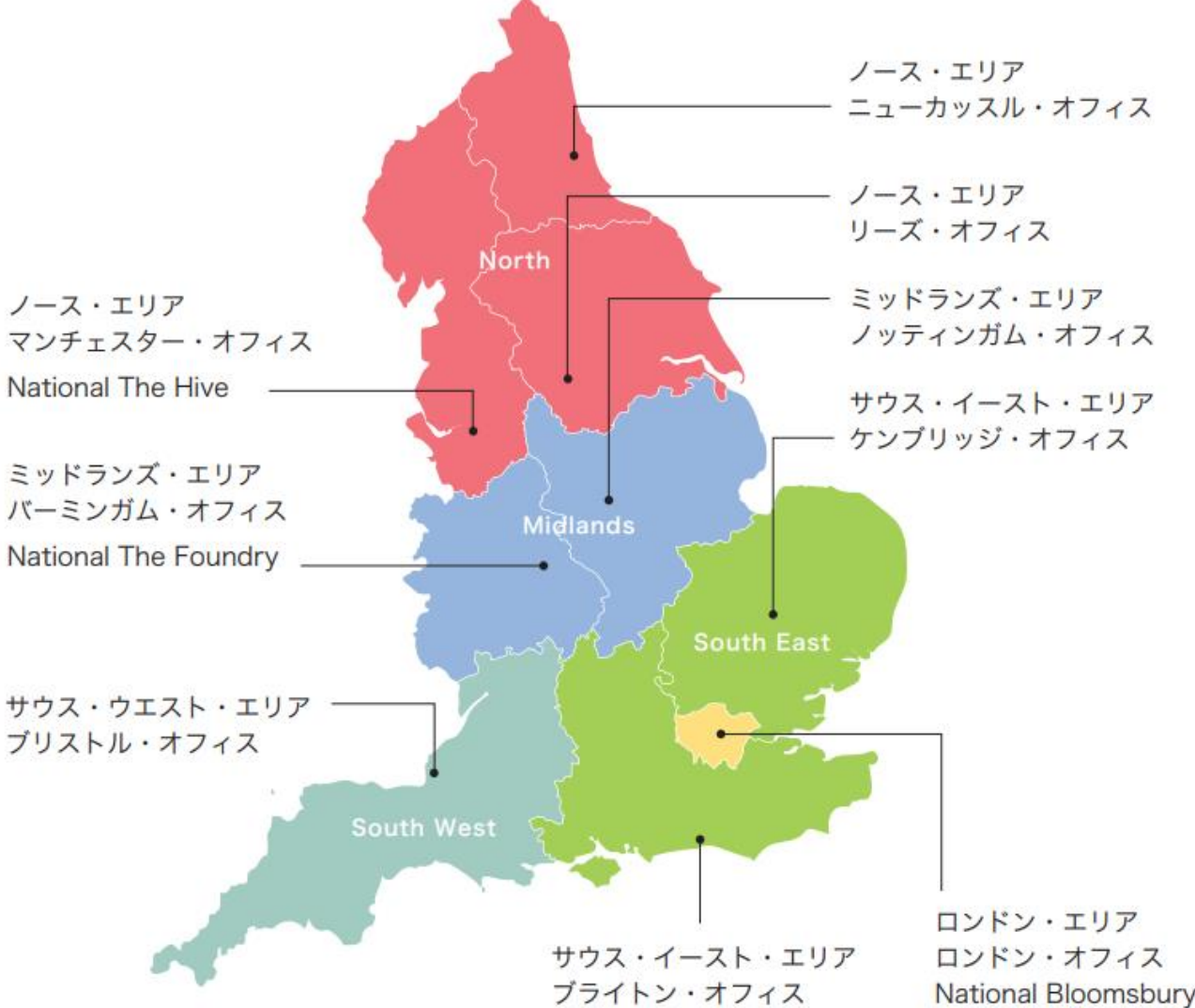


3) 規模の確保 資金（カネ）、事業（モノ）、組織（ヒト）
イングランド・スコットランド報告書p. 29ほか

エリアの設定と助成金配分



政府助成



宝くじ助成



3) 規模の確保 資金（カネ）、事業（モノ）、組織（ヒト）

代表的な助成プログラム（2024/25）

助成事業名	対象	助成金額
運営助成 <i>National Portfolio Investment Programme</i>	985団体	£ 450m
事業助成 <i>National Lottery Project Grants Programme</i>	2744事業	£ 113m Average £ 41,401
事業助成 <i>Developing Your Creative Practice Programme</i>	1220人	£ 14.2m Average £ 11,649
教育省助成 <i>Music Hubs Programme</i>	新規43拠点	£ 76.7m
他ファンドとの連携 Historic England National Lottery Heritage Fund/ <i>Capital Investment Programme</i>	33施設	£ 41m

運営助成「BIG10」 （2018／19）		運営助成（2024／25）	
Name of organisation	£ /m	Name of organisation	£ /m
Royal Opera House	24.03	Royal Ballet & Opera	24.12
Southbank Centre	18.36	National Theatre	22.64
National Theatre	16.70	Southbank Centre	21.07
Royal Shakespeare Company	14.98	Royal Shakespeare Company	15.26
English National Opera	12.38	English National Opera	12.75
Opera North	10.39	Opera North Limited	10.04
Manchester International Festival	9.54	The National Foundation for Youth Music	9.65
Birmingham Royal Ballet	7.89	Factory International(Manchester)	9.41
English National Ballet	6.21	Birmingham Royal Ballet	8.17
Welsh National Opera	6.12	English National Ballet	6.01

Welsh National Operaは13位
RBOは日本円換算で約48億円(1 £ = 199円)

強会／石田麻子

3) 規模の確保 資金（カネ）、事業（モノ）、組織（ヒト）

事業(モノ)

プログラム別

政府からの資金提供

*略号

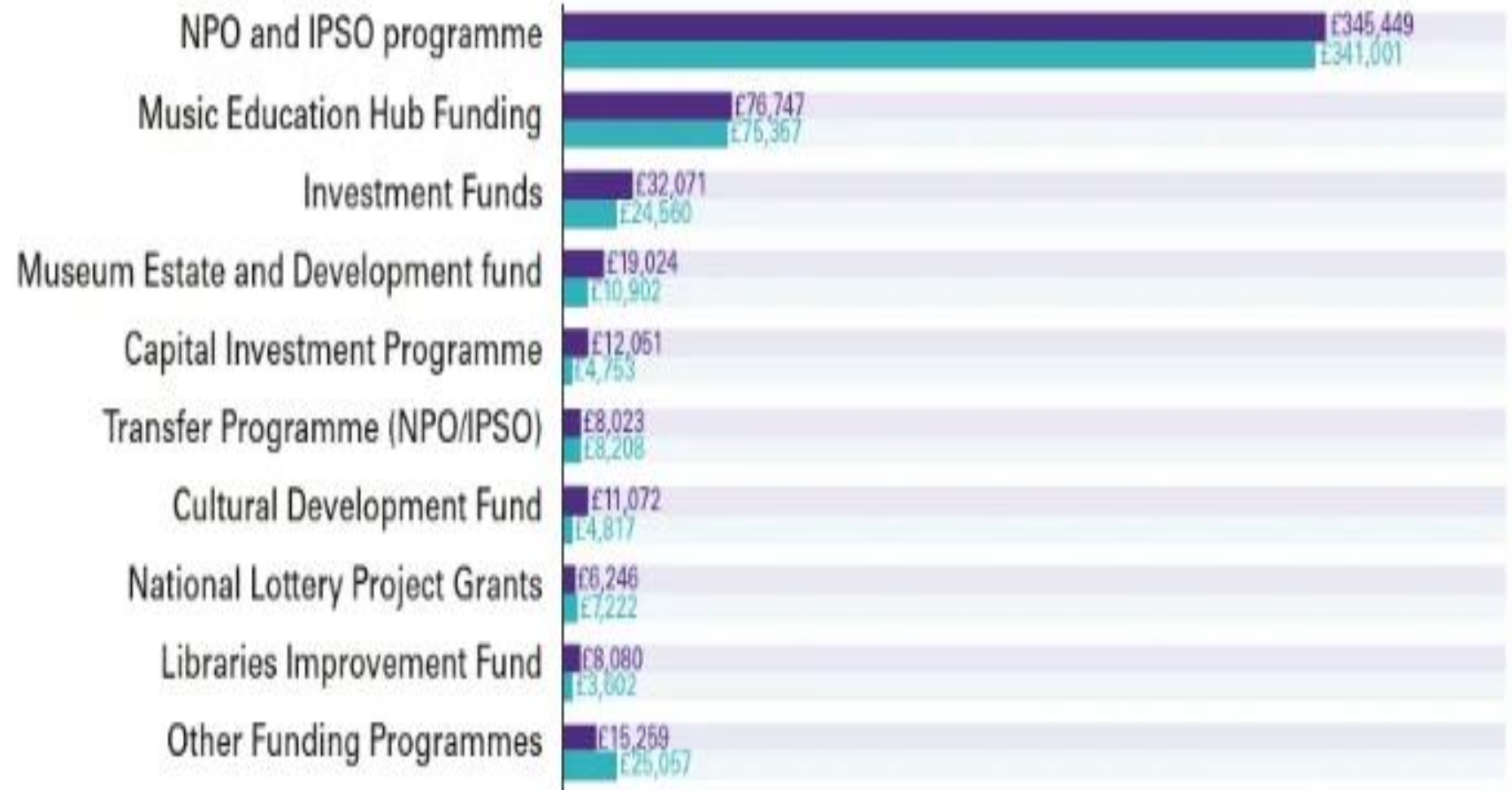
・ NPO:
National Portfolio Organisation

IPSO:
Investment Principles Support
Organisation

出典: ACE年次報告書2024/25、
p.13

Cash paid out by Funding programme (£'000s)

● 2024/25 ● 2023/24



3) 規模の確保 資金（カネ）、事業（モノ）、組織（ヒト）

事業（モノ）

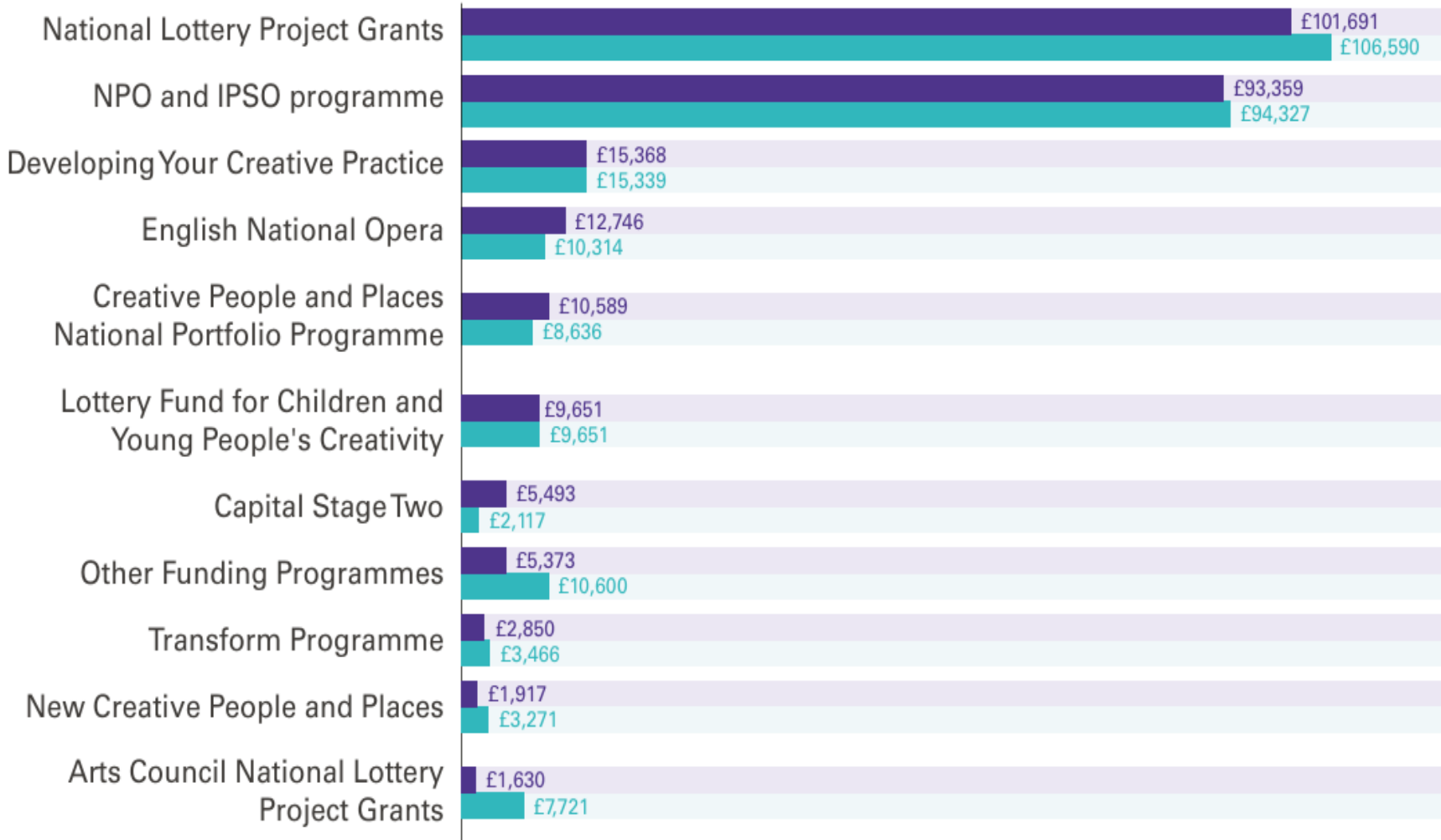
プログラム別
宝くじからの資金提供

資金源を明確にするために、
グラント名に宝くじと明記

出典：ACE年次報告書2024／25、
p.16

Lottery cash paid by programme (£m)

● 2024/25 ● 2023/24



3) 規模の確保 資金（カネ）、事業（モノ）、組織（ヒト）

多様なステークホルダーとのハブ／プラットフォーム

【文化芸術団体】

社会情勢・政治の変動から文化芸術活動を守り、育てる
事業の「企画」「執行」「評価」「課題解決」を実施
文化芸術団体の自律的運営に寄り添う支援

【文化芸術分野の専門家】

ピア・レビューの導入

【関連分野の専門家】

弁護士、会計士などとの連携

【中間支援組織等】

多様な支援スキルを持った組織との連携

【文化芸術振興人材のプラットフォーム】

- ・文化芸術分野の組織や事業特性、経緯を知悉した人材の活動の場の一つ
- ・分野専門家の存在の把握
- ・芸術団体の制作者／経営者などとの人的交流
- ・法律、会計等の関連分野、かつ芸術分野の知識と経験をもった人材との連携

3)規模の確保 資金（カネ）、事業（モノ）、組織（ヒト）『芸術文化助成の考え方』p.73～74

適切な規模と専門性をもった人的体制が必要となる

【リレーションシップ・マネージャー(RM)／オフィサー】 合計:2018年492名→2025年697名

(フルタイム換算)

図表2-8 リレーションシップ・マネージャーの配置 (2018年)

		ノース	ロンドン	ミッド ランズ	サウス・ ウエスト	サウス・ イースト	合計
シニア・リレーションシップ・マネージャー		9	8	4	4	4	29
分野	音楽	7	7	5	1	4	24
	ビジュアルアート	5	5	2	2	2	16
	複合芸術	9	4	2	2	2	19
	演劇	5	10	3	2	2	22
	美術館・博物館	5	1	2	1	2	11
	ダンス	2	2	3	1	1	9
	文学	2	3	1	1	1	8
	図書館	1	1	1	1	1	5
	多様性	1	1	1	1	1	5
政策領域	クリエイティブ・メディア	2	1	2	1	1	7
	子ども、若者、学び	3	2	2	2	5	14
	関与と鑑賞者	3	1	2	1	2	9
	ツアー	1	1	2	1	1	6
合計		55	47	32	21	29	184

図表2-7 ナショナル・オフィス・チームのスタッフ配置 (2018年)

オフィス	部署	人数	合計
マンチェスター	コミュニケーション	9	127
	不動産・設備	2	
	財務	16	
	ガバナンスとプランニング	5	
	HR	7	
	IT	16	
	インベストメント	13	
	顧客サービス	13	
	助成プログラム	46	
ロンドン	コミュニケーション	9	20
	不動産・設備	3	
	ガバナンスとプランニング	4	
	インベストメント	4	
	助成プログラム	4	
バーミンガム	不動産・設備	1	5
	ガバナンスとプランニング	3	
	インベストメント	1	
ブリストル	助成プログラム	1	2
	不動産・設備	2	
(在宅勤務)	HR	2	3
	インベストメント	1	
	助成プログラム	1	
総計			157

4) 戦略と意識付け (1) 文化芸術助成のリスク管理：モニタリング 1年間のスケジュール

バンド3：100万£以上 バンド2：25万～100万£ バンド1：4万～25万£

『芸術文化助成の考え方』 p.131～132

	バンド	バンド3	バンド2、SSO	バンド1
第1 四半期	日付			
	4月1日	【3年目の支払い：第1回目】	【3年目の支払い：第1回目】	【3年目の支払い：第1回目】
		管理会計文書とキャッシュフロー計算書／理事会文書が管理報告書	管理会計文書とキャッシュフロー計算書／理事会文書が管理報告書	管理会計文書とキャッシュフロー計算書／理事会文書が管理報告書
		ビジネス・プラン（予算とキャッシュフロー計算書を含む）／鑑賞者およびエンゲージメント・ブランドデジタル・ポリシーとプラン／平等に関するアクション・プラン／リスク登録	ビジネス・プラン（予算とキャッシュフロー計算書）／鑑賞者およびエンゲージメント・プラン／デジタル・ポリシーとプラン／平等に関するアクション・プラン／リスク登録	予算とキャッシュフロー計算書を含む2021/22のビジネス・プランの最終版／予算とキャッシュフローを含む2022/23の指標となるビジネス・プラン
		すべてのポリシーと計画を更新し、付録として添付しなくてはならない	ビジネス・プランに含めるか、	—
	5月6日	【3年目の支払い：第2回目】	—	—
		管理会計文書とキャッシュフロー計算書／（カーボン・カリキュレーターに記入）	—	—
	5月31日	環境持続性に関する資料：	環境持続性に関する要請：	環境持続性に関する要請：
		持続性ポリシーとアクション・プランの見直し／カーボン・カリキュレーターに環境データを入力	持続性ポリシーとアクション・プランの見直し／カーボン・カリキュレーターに環境データを入力	持続性ポリシーとアクション・プランの見直し／カーボン・カリキュレーターに環境データを入力
	6月3日	【3年目の支払い：第3回目】	—	—
第2 四半期		管理会計文書とキャッシュフロー計算書	—	—
	6月12日	アニュアル・サーベイ（公式統計用データ）完成	アニュアル・サーベイ（公式統計用データ）完成	アニュアル・サーベイ（公式統計用データ）完成
	7月1日	【3年目の支払い：第4回目】	【3年目の支払い：第2回目】	【3年目の支払い：第2回目】
		管理会計文書とキャッシュフロー計算書／理事会文書が管理報告書／アニュアル・サーベイ（公式統計用データ）提出／年次強化報告書（オーディエンス・ファインダーで作成した鑑賞者の保護特性に関する詳しい情報を含む）／ファンディング・アグリーメントの追加条件の順守確認のためのデータ共有アンケート／クオリティ評価を要約したアニュアル・レポート	管理会計文書とキャッシュフロー計算書／理事会文書が管理報告書／アニュアル・サーベイ提出／年次強化報告書（オーディエンス・ファインダーで作成した鑑賞者の保護特性に関する詳しい情報を含む）／ファンディング・アグリーメントの追加条件の順守確認のためのデータ共有アンケート	管理会計文書とキャッシュフロー計算書／年次報告書（オーディエンス・ファインダーで生成されたもの）／アニュアル・サーベイ提出／ファンディング・アグリーメントの追加条件の順守確認のためのデータ共有アンケート
	8月5日	【3年目の支払い：第5回目】	—	—
		管理会計文書とキャッシュフロー計算書	—	—

	バンド	バンド3	バンド2、SSO	バンド1
第2 四半期	日付			
	9月	前年度のアニュアル・フィードバック・レターの伝達（ACE から各団体向け）		
	9月2日	【3年目の支払い：第6回目】	—	—
		管理会計文書とキャッシュフロー計算書	—	—
	10月7日	【3年目の支払い：第7回目】	【3年目の支払い：第3回目】	【3年目の支払い：第3回目】
		管理会計文書とキャッシュフロー計算書／理事会文書が管理報告書	管理会計文書とキャッシュフロー計算書／理事会文書が管理報告書	管理会計文書とキャッシュフロー計算書／理事会文書が管理報告書
		ACE や政府から重複資金を得ていないかの確認	—	—
	11月4日	【3年目の支払い：第8回目】	—	—
		管理会計文書とキャッシュフロー計算書	—	—
	12月2日	【3年目の支払い：第9回目】	—	—
第3 四半期		管理会計文書とキャッシュフロー計算書	—	—
	12月21日	RM にメールで連絡	RM にメールで連絡：	—
		予算とキャッシュフロー計算書を含む2021/22のビジネス・プランのドラフト／予算とキャッシュフロー計算書を含む2022/23の指標となるビジネス・プランのドラフト	—	—
	1月6日	【3年目の支払い：第10回目】	【3年目の支払い：第4回目】	【3年目の支払い：第4回目】
		管理会計文書とキャッシュフロー計算書／理事会文書が管理報告書／前年度の財務諸表	管理会計文書とキャッシュフロー計算書／理事会文書が管理報告書／前年度の財務諸表	管理会計文書とキャッシュフロー計算書／前年度の財務諸表
	2月6日	【3年目の支払い：第11回目】	—	—
		管理会計文書とキャッシュフロー計算書	—	—
	3月3日	【3年目の支払い：第12回目】	—	—
		管理会計文書とキャッシュフロー計算書	—	—
		—	—	—

出典：ACE, Band 3 - Standard conditions and deadlines, Band 2 - Standard conditions and deadlines, Band 1 - Standard conditions and deadlines, 2020¹¹ を筆者日本語訳改訂

4) 戦略と意識付け (2) コミュニケーション／戦略目標の意識づけ

『芸術文化助成の考え方』 p.22~38、p.190~205

戦略目標の意識付け

例) Roal Ballet and Opera の組織プラン

(旧Royal Opera House)

被助成団体がACEの戦略目標に基づく方針を策定

組織内で共有の姿勢

卓越性: 最高の人材とアイディア

開放: 多くの人との関わり

財政面のレジリエンス: 組織の健全性の確保

職場環境: 安全、包摂性、生産性の確保

図表 6-4 ロイヤル・オペラ・ハウスの組織プラン

目的	卓越したバレエとオペラを、多くの人びとが分かち合い、関与ようになる			
戦略	卓越性を高める	開放する (Open Up)	財政面のレジリエンスを確保する	素晴らしい職場になる
	常に今日の最高の人材とアイデアを反映し、可能な限り幅広い観客にアピールする	より多くの人びとをバレエやオペラの中心に迎え入れ、自分たちがふざわいと感じ、関わりを深めたいと思うようにする	健全な組織を確保するために資源の利用方法を改善し、収入を増やす	ここではたらくことを、より安全で、包摂的で生産的にする
2022年度までの戦略目標	我々の芸術プログラムが英国の多様性をより正確に反映していく	一日中いつでも来場を歓迎し、引き込んでいく	財政環境が極めて厳しい状況にあっても予算のバランスをはかり続ける	我々の作業慣行がより効率的かつ安全で、卓越性を支えるものとなる
	ROH 全体の芸術的なアンビションを支えるプログラムで世界クラスの中規模劇場を持つ	ロンドン市外のより多くの人びとが ROH の作品への関与を選択するようになる		ROH ではたらくすべての人が支えられていると感じ、自分を表現することができる
プラン	私たちの芸術的アイデンティティを反映し、観客、キャパシティ、財務上の重要性のバランスをとった刺激的で提供可能なプログラムを開発する	展示、上演、活動、来場者サービスの向上によって、劇場前面の空間を強化して、活性化させる	観客をよりよく理解し、ビジネスチャンスをつかむことによって収入額が増える	文化、プロセスと姿勢をアップデートして、健康、安全そしてウェルビーイングを増進する
	上質で、革新的で、コラボレーションに基づいた一貫性のあるプログラミングで、リンベリー劇場を再開場する	英国国内で新しいテクノロジーを拡げて関与を深め、試すことで、映画やデジタルの参画を拡大する	将来のフィランソロビーのための基盤を築く基金を増やし、将来のフィランソロピストを育てる	すべてのスタッフと来場者にとって包摂的で、公正で、安全であるように明確な基準を設定して ROH の価値と行動を組み込む
	人材パイプラインをより包摂的にするパートナーと協力して驚くほど多様なアーティストを育成する	バレエとオペラを国の文化生活の中心にして影響力の大きい全国規模のイベントに参加する	効率の見直しと自動化によって恒久的なコスト削減をおこなう	「素晴らしいアイデア」から「幕を開ける」までの道のりが可能な限り効果的になるようにプランや制作方法を改善する
	若い人たちが一層創造的で、パフォーマンス、批評ができるように学校を啓発、整備することで最初の一步を全国的にひろげる	ブランド・アイデンティティを一新して、上演、プロジェクト、建物、コンテンツを通じて一貫してそれを反映する	建物および機材／設備の段階的アップグレード・プログラムに投資することによって私たちの劇場の将来を守る	設備責任者も含めたスタッフのより良い運営のための学び、啓発、シェアを支援する
		観客について一層理解して、プログラムやサービスの広報に、データやフィードバックを活用する	コストを削減し、生産能力を拡大し、収益を生み出すために技術の活用を最適化する	管理可能な能力の範囲内で、熟練した多様な人材がはたらくことを保証するために将来の資源計画を策定する
指標	観客満足度	ロンドン市外へ届ける	バランス・シートの健全性	スタッフの健康とウェルビーイング
	アーティストの多様性	観客の多様性	生産性	スタッフの多様性
	チケット収入	日中の関与、ROH への滞在	ファンドレイジング収入	スタッフの関与と満足度
考え方	卓越性		演劇性	好奇心

出典：筆者による ROH へのインタビューより (2019 年 11 月 25 日)

4) 戦略と意識付け (2) コミュニケーション／戦略目標の意識づけ

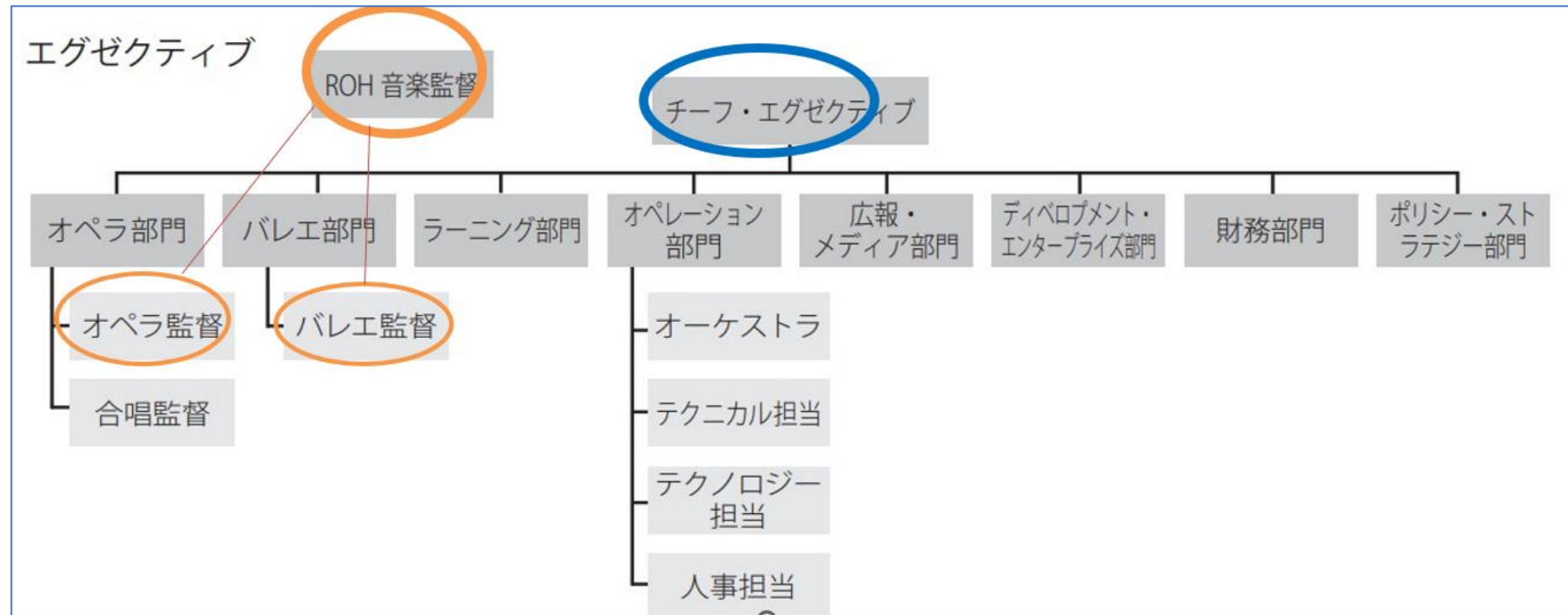
『芸術文化助成の考え方』 p.190～205

文化芸術助成のリスク管理

運営や財務の健全性に関するモニタリングの実際

RMをつうじたコミュニケーション

【RBO(旧ROH)の組織図】



5) 情報 (1) 情報確保の理由

『芸術文化助成の考え方』p. 220～221

公的資金を投入する理由を国民に説明していく責任を果たすための情報収集／提供

文化芸術への助成に関する意味を
国民に説明する責任を果たす機関

【説明責任】

- ・なぜ公的資金を文化芸術に投入するのか
- ・なぜ継続的な文化芸術への助成をおこなうのか
- ・文化芸術への投資によって得られる効果とは何か
- ・社会課題との接続

【情報の集約化】

- ・文化芸術活動に関連した情報集約
文化芸術活動の可視化
歴史的経緯／関連人材／文化芸術団体／
文化芸術活動／鑑賞者等のデータ等
- ・鑑賞者調査の実施・調査手法の提案

【戦略目標の達成状況の可視化】

【分析に基づく政策提案と説明責任】

- ・分析によるエビデンス提示
- ・納税者への説明責任

5) 情報 (2) システム

イングランド／スコットランド報告書 p. 80～81

グランティウム

文化芸術助成情報の収集機能

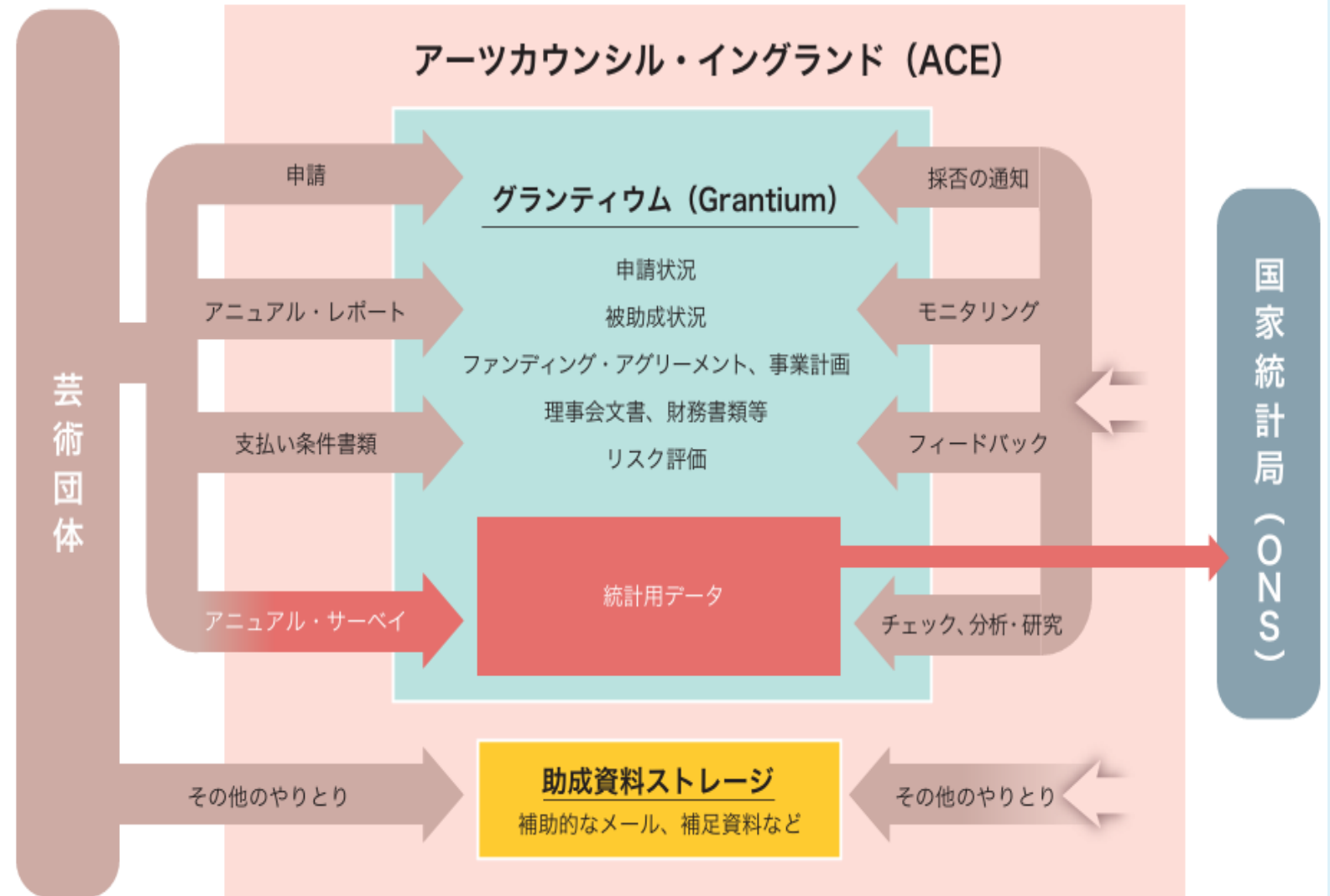
助成金執行に係る接点としてのシステム構築

被助成団体からの書類提出

ACEにデータが蓄積

(国家統計局にも一部提出)

図表 1-2.27 助成管理システム「グランティウム」イメージ



(ACE マンチェスター・オフィスへのインタビュー (2018/04/27) を基に作成)

6)ナショナル・アーツカウンシルの構築にむけて

文化芸術助成を通じて政府の文化政策を実現する統合的な助成執行機関
政府との関係を明確にしつつ、文化政策を推進し、提言する役割

【構成要素】

・体制 ・事業 ・資金 ・情報

【役割】

- ・公的資金の適時・適切な配分
リスク管理・コミュニケーション
- ・情報収集・管理と分析／政策提案
芸術活動の把握／総量・活動傾向
鑑賞行動や需要把握
社会的課題との接続
- ・芸術振興人材育成のプラットフォーム

【検討課題】

- ・組織規模・組織体制
- ・事業企画(分野別／課題別など)
- ・資金確保
- ・データベース構築
- ・組織の位置づけ
- ・関連領域との関係性
教育／観光／地域／経済／国際など
- ・他省庁との連携